

**第 41 回読売新聞社杯全日本選抜競輪開催に係る開催業務総合運営委託
(公募型プロポーザル方式) 選定基準**

第 41 回読売新聞社杯全日本選抜競輪開催に係る開催業務総合運営委託における参加表明者の選定に関し、以下のとおり定めるものとする。

1 受託候補者の選定方法

- (1) 第 41 回読売新聞社杯全日本選抜競輪開催に係る開催業務総合運営委託候補者選定審査会設置要綱に規定する各委員が、参加表明者から提出された提案書等及びヒアリング等の内容に基づき、下記「2 評価の手順」に従い評価を行う。
- (2) 評価合計の最高得点者を受託候補者として選定する。ただし、各委員の得点平均が 50 点未満の場合は選定しない（参加表明書が 1 者のみの場合を含む）。
- (3) 最高得点者が複数者いる場合は、その中から審査会の議決により選定する。
- (4) 最高得点者が辞退その他の理由で契約交渉できない場合は、次点の者を契約の相手方候補者とする。

2 評価の手順

- (1) 事務局は、提案書受付時に提示金額が委託金額の上限額以内であるかを確認し、上限額を超えている場合は、その提案書を失格とする。
- (2) 委員は、提案書類の記載内容を確認し、審査会にてヒアリングを実施する。
- (3) 委員は、次に掲げる評価項目及び評価基準に基づき評価を行う。
- (4) 事務局は、評価項目ごとに各委員の採点を平均（小数点第 2 位以下切り捨て）し、合計した点数を参加表明者の得点とする。

【評価基準】

以下の評価項目 1 ～ 8 について（各委員が直接採点）

	5 点満点	10 点満点	15 点満点	20 点満点
きわめて優れている	5	9～10	13～15	17～20
優れている	4	7～8	10～12	13～16
普通	3	5～6	7～9	9～12
やや劣る	2	3～4	4～6	5～8
劣る	1	1～2	1～3	1～4

【評価項目】

評価項目	評価のポイント	配点
1 業務推進体制	・業務履行体制や当該業務を履行するために必要な実績を持ち合わせているか。 ・受託者（再委託など協力事業者を含む）との役割や責任の所在が明確となっているか。 ・業務を遂行する上で、十分な人員配置がなされているか。	5 点
2 プロモーション、映像・音楽・実況放送	・競輪のイメージアップが図られ、既存ファンはもとより新規ファンの増加につながる提案となっているか。 ・既存観光資源の活用による国内外の観光客向けのプロモーションや、全日本選抜競輪開催に向けた機運醸成のための取組等が、新規顧客獲得につながる提案となっているか。 ・番組制作を含め各プロモーションが、独自性のある提案となっているか。	10 点
3 広報	・明確な根拠に基づき、各媒体・広報ツールの特性に応じたターゲット設定ができており、訴求力のある提案となっているか。 ・仕様書記載の各媒体がすべて活用され、来場・売上促進が期待できる効果的な提案となっているか。	20 点
4 来場者対応、ファンサービス	・競輪ファンおよび競輪になじみのない方々、それぞれをターゲットとし、売上促進や新規客層獲得に効果的な提案となっているか。 ・来場者が実際に競輪選手と交流を行うことで、選手や競輪そのものの魅力を感じることでできるイベントが提案されているか。 ・各種イベント出演者等に配慮がなされた提案となっているか。	20 点
5 ノベルティ等制作	・熊本競輪の独自性があり、あわせて全日本選抜競輪にふさわしい物品選定・デザイン等の提案となっているか。 ・量・質ともに費用対効果の高い提案となっているか。	15 点
6 場内外の装飾、車券発売機増設支援、仮施設等の設置や維持管理	・全日本選抜競輪にふさわしい場内外の装飾を行う提案となっているか。 ・仮施設の配置や動線を意識したゾーニング等、多くの来場者や来賓等を想定した提案となっているか。 ・出演者や関係者の控室等の確保は十分か。	20 点
7 式典実施運営	・式典が魅力的かつ華やかな演出となっているか。 ・式典出席者等に対して、控室の確保や防寒対策等の配慮がなされた提案となっているか。	5 点
8 その他	・来場者輸送、駐車場整理においては、不測の事態に対応できる体制が整った提案となっているか。 ・各種提案において追加発生する費用（オプション）が、提案上限額に含まれているか一見して判別できる提案となっているか。	5 点
合計		100 点